

職員自己評価【各自の総括・自由意見】

No. 1

29年度も「明るく元気にのびのびと」をモットーに子ども達のすこやかな成長を願う園児、職員、保護者の方が、しっかり手をつなぎ充実した1年を過ごせたのではと思う。また、信頼関係づくりを大切に、日々の生活や行事などを通して「絆」を深めることができたのではと思う。しかし、まだまだ、不十分な所もあると思うので更によりよい保育を目指すと共に「愛着」を大切に親子関係作りをサポートしていけたらと思う。

今年度は、複数の保育者で保育を行うことの難しさを感じた1年だった。日々の保育を行う上で、新人の先生の指導、話し合い、ベテランの先生との共通理解など、必要なことも避けて通ってしまうことが多々あり、反省するべきところ、自分が足りないところ、課題が見つかったように思う。「コウノトリ」の鴻鳥先生のように関わる人に温かく、言うべきことはしっかりとと言える保育者を目標に来年度は頑張っていきたい。

研修に行かせて頂いたが、まだ保育としては活かしていないので、少しずつでも活かしていけたらと思います。

園庭の遊具（コンビネーション遊具、ブランコ）の柵を増やせるのであれば、増やしたほうが未満児の遊びにも安全性が高くなると思います。

来年度は色々な遊びを計画し、こどもたちが興味を持って楽しく遊べる環境をたくさん作っていききたいと思います。

自己評価を行うことで、今年度自分にかけていた点がわかりました。来年度は、この反省点を改善できるよう努めていききたいと思います。また、非常勤の先生方に掃除を任せっきりになってしまう部分もあったので、積極的に掃除を行ったり、玩具の整理なども心がけていききたいと思います。去年とくらべて子ども達ひとりひとりの事を考えて環境や活動を工夫することができたように感じます。今後も環境や活動を工夫しながら、ひとりひとりへの愛情を大切に関わっていきたいと思います。

忙しい毎日に余裕がなくなってしまうことが多く、もっとゆとりをもって子どもたちとかかわれたら良かったなと反省でしたが、自分なりに子どもたち1人ひとりのことを考え、成長を見守れたのかなと思います。

実際に現場でこどもや保護者と関わることで個人情報大切さや信頼関係を築く難しさを改めて感じた。保護者と接していく中で初めは、あまり家でのことを話してくれなかった方が、自ら家庭の様子を話してくれたことに大きな喜びを感じ、これもやりがいの1つだと思った。まだ、分からないこと、できない事ばかりだが色々な経験をして学んでいきたいと思います。

職員自己評価【各自の総括・自由意見】

No. 2

クラス人数が少なかったことから日々一人一人と時間をかけて向き合うことができ、子どもたちも一年間大きな怪我もなく、穏やかにすくすくと成長することができたと思う。

計画していたバースデーレターやちゅうりっぷ通信、毎月の感覚遊びに向けた指導案作りなど、大変ながらもすべて実行することができ、想像以上にやってよかったという達成感を感じた。これがあったからこそ担任同士話し合う機会も多く、目標や互いのイメージを共有できた。

全体的に穏やかに過ごす子どもたちだったが、指導案づくりでは「もしこんな子がいたらどうする？どうなるかな？」と想像しながら色々なことに合わせた準備や援助を話し合うことも良かったと思う。前もっての準備や意識があったからこそ怪我もなく、一年間穏やかな雰囲気でも過ごせたのではないかとホッとしている。

話し合う時間が多かったからこそ、良い点にもつながったが、通じ合えないことや伝わらないことに余裕をなくして自己嫌悪も高まっていた。今年度の良い点、悪い点も参考にしながら来年度は少しでも自分自身も成長できたらと思う。

職員間で協力して相談してということが、現在の職員間ではできていないように思う。同じ方向性で保育に熱をもって行っていけるようにしたい。

えいふく保育園の良さがなくならないよう、今できることを真剣に考え、向き合っ
て行動に移せるようにしたい。

今年は今まで以上に周りの先生方に助けられながらの一年でした。その分、職員間の関係づくり、協力体制の大切さも改めて感じました。

よりよい園にしていく為にも、先生達と力をあわせていけるよう、気持ちを新たに
して新しいクラスに臨みたいです。